

彙報

平成十二年度研究所活動報告

前号彙報のように、研究会「弘法大師の思想とその展開に関する研究」と「密教の形成と流伝に関する研究」は、平成十二年度から合同で月例の研究会を持つことになり、学外の研究者を招いて行われた特別研究会を含め、都合九回開催した。研究会のメンバーは、高木所長、森・越智・山陰・室寺各所員の他、岩崎日出男氏（園田学園女子大学助教）を加えた六名である。研究会の発表者とテーマは前号彙報のとおり。

平成十二年度研究所所員研究業績

高木 諄元

○著書

『守護国界主陀羅尼經』（新国訳大藏經三） 大蔵出版 二〇〇一年一〇月 三〇二頁

○論文

「般若三藏と弘法大師空海」 『高野山大学密教文化研究所紀要』

第一四号 二〇〇一年二月 一一三頁

○その他

「御請来目録」について 『弘法大師墨蹟聚集』第3回配本会報
二〇〇一年一月 二一四頁

森 雅秀

○著書

『インド密教の仏たち』春秋社 二〇〇一年二月、三三四頁。

Three Hundred and Sixty Buddhist Deities. Asian Iconography Series No.2. New Delhi: Adroit, 2001, 389pp.（立川武蔵・山口しのぶと共編著）

○論文

「The Bon deities depicted in the wall paintings in the Bon-rya monastery', S. Karmay & Y. Nagano eds. *New Horizons in Bon Studies, Bon Studies 2, Semi Ethnological Reports 15*, National Museum of Ethnology, July, 2000, pp.509-549.

「解体されるマンダラ——タンカの画面構成に関する一考察——」

『加藤純章博士還暦記念論集 アビダルマ仏教とインド思想』春秋社 二〇〇〇年十月 三七三—三八六頁

「時輪マンダラの墨打ち法」 『高木諄元博士古稀記念論集 仏教文化の諸相』山喜房仏書林 二〇〇〇年十一月 三四五—三六四頁

「仏教における殺しと救い」 立川武蔵編『癒しと救い アジアの宗教的伝統に学ぶ』玉川大学出版部 二〇〇一年二月 一五四—一七一頁

「ヴァジュラーヴァリー」所説のマンダラ——尊名リストおよび配置図—— 『高野山大学密教文化研究所紀要』第一四号 二〇〇一年二月 一一一—一七頁（横組）

「ネパール国立古文書館所蔵『百八観音白描集』」 『密教文化』

第二〇六号 二〇〇一年三月 五六—一〇七頁

○書評

北村太道、ツルティム・ケサン共訳 『秘密集会安立次第論註釈』

(永田文昌堂) 『密教学研究』 第三三三号 二〇〇一年三月 一七

四—一七八頁。

○口頭発表

「仏教学と図像研究」 日本仏教学会平成二二年度学術大会 二〇

〇〇年九月三十日(広島大学)。

「インドにおける密教美術の形成と展開——インド・バングラデシユ

現地調査報告——」 高野山大学密教文化研究所研究会「密教の形

成と流伝に関する研究」 二〇〇〇年十月三十日(高野山大学)。

越智 淳仁

○論文

「『初会金剛頂経』における「加持」の用例」 『高野山大学密教

文化研究所紀要』第一四号 二〇〇一年二月 一六一—二五九頁(横

組)

山陰加春夫

○編著書

『さのくにに荘園の世界 上巻』 清文堂出版 二〇〇〇年六月 一

—三〇三頁

○論文

「中世寺院と『悪党』——高野山金剛峯寺の場合——」 『日本仏

教学会年報』六五 二〇〇〇年五月 七九—八九頁

「正文を押領人に渡した話——紀伊国南部荘の事例——」 『高木諲元

博士古稀記念論集 仏教文化の諸相』 山喜房仏書林 二〇〇〇年

二月 三三三—三三八頁

○口頭発表

「室町初期官省符荘の村落構造について」 国立歴史民俗博物館共

同研究

「室町期荘園制の研究」 第二二回研究会 二〇〇〇年九月

○その他

「根来寺文化研究所編『根来寺の歴史と美術』(新刊紹介)」 『密

教学研究』第三三三号 二〇〇〇年三月 一四四—一四八頁

「紀伊国の五つの共和国」 『CaN』二九 二〇〇〇年七月 八

—一一頁

「中世の伝統が現在に息づく——和歌山・高野町」 『大学時報』

二七五 二〇〇〇年一月 一二六—一二七頁

室寺 義仁

○論文

「ヴァスバンドウによる「識」理解——『五蘊論』を中心として——

——」 『加藤純章博士還暦記念論集 アビダルマ仏教とインド思想』

春秋社 二〇〇〇年十月 一六七—一八〇頁

「『十地経』における「大悲」(mahakaruna)と「唯心」(cittamatra)」

『高木諲元博士古稀記念論集 仏教文化の諸相』 山喜房仏書林

二〇〇〇年二月 二五一—二六七頁

「『華嚴経』「十地品」における「唯心」(cittamatra)について」

『高野山大学密教文化研究所紀要』第一四号 二〇〇一年二月 一
一九―二五九頁(横組)

平成十二年度寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

左掲の寄贈図書及び交換雑誌は平成十二年四月より平成十三年三月
末までの間に登録したものです。御寄贈者の諸機関ならびに諸氏には
厚く御礼申し上げます。当研究所の図書充実のため、今後とも一層の
御協力と御支援をお願いいたします。

寄贈図書

- 石山寺資料叢書 聖教篇第二 石山寺文化財総合調査団編
(法蔵館 平成12年10月) 石山寺殿
- 石山寺資料叢書 史料篇第二 石山寺文化財総合調査団編
(法蔵館 平成12年11月) 石山寺殿
- 印度学仏教学研究(46―1、2、47―2、49―1)
日本印度学仏教学会編(同学会 平成9年、12年) 森雅秀殿
- インド・ネパール・スリランカの民話 坂田貞二編訳
(みくに出版 平成10年7月) 長野泰彦殿
- インド密教の仏たち 森雅秀著(春秋社 平成13年2月) 著者殿
- 峨山布教資料集 第1集
(真言宗大覚寺派教学研究室 平成12年10月) 発行者殿
- 学説規定 摩尼宝鬘(文殊師利大乘仏教叢書1)
イシテンジン他訳
(文殊師利大乘仏教会 平成12年3月) 甲田博史殿
- 教祖の教えと現代(伝道参考シリーズ11)
天理大学おやさと研究所編
(同研究所 平成12年3月) 発行者殿
- きのくに荘園の世界 上巻 山陰加春夫編
(清文堂出版 平成11年6月) 発行者殿
- 華嚴経の研究(平成9年度、平成11年度科学研究費補助金
「基盤研究(B)」研究成果報告書) 越智淳仁他著
(同人他 平成12年3月) 著者殿
- 空海入門(ちくま新書107) 竹内信夫著
(筑摩書房 平成9年5月) 弘法大師墨蹟集刊行会殿
- 空海の水 萩原弘道著(サンロード 平成11年10月) 甲田博史殿
- くらしに生かすマンダラ(誕生院新書3) 頼富本宏著
(善通寺 平成12年1月) 発行者殿
- 賢劫の千仏(長谷法寿仏像集1) 長谷法寿著
(東方出版 平成11年10月) 甲田博史殿
- 現代社会における―生と死― 愛知県仏教会他編
(平成9年4月) 森雅秀殿
- 高野山大学公開講座テキスト1(高野山から弥勒の世界へ)
武内孝善著(高野山大学 平成12年8月) 発行者殿
- 高野山大学公開講座テキスト2(慈悲行の実践者たち)
藤村隆淳著(高野山大学 平成12年8月) 発行者殿
- 高野山大宝蔵展 第21回(密教の花) 高野山霊宝館編
(高野山霊宝館 平成12年7月) 発行者殿
- 高野山町石の道 宮川良彦著(武田書店 昭和61年) 甲田博史殿
- 三国遺事校勘研究(銀海寺一然学研究院学術叢書1) 河廷龍他著

- (新書苑 一九九七年10月) 著者殿
 ○書に遊ぶ 5 (特集 知られざる空海) 「書に遊ぶ」編集部編
 (クリエイティブアートとまと 平成12年3月) 飯島太千雄殿
 ○常楽寺西蔵文獻目録 立川武蔵編
 (名古屋大学文学部印度哲学研究室 昭和54年6月) 森雅秀殿
 ○神道古典研究所紀要 第6号 神道古典研究所編
 (神道大系編纂会 平成12年3月) 発行者殿
 ○神道書目叢刊 6 (林崎文庫塩竈神社村井古殿奉納書目録・下二)
 谷省吾他編 (皇学館大学神道研究所 平成11年3月) 発行者殿
 ○禅の世界 第三輯 (禅研叢書) 愛知学院大学禅研究所編
 (同研究所 平成12年11月) 発行者殿
 ○蔵文縮略語詞典 載作民編
 (四川民族出版社 一九八八年4月) 甲田博史殿
 ○大日経疏入真言門住心品索引 (善教振叢書2) 福田亮成著
 (普通寺教学振興会 平成12年6月) 発行者殿
 ○中央学院大学社会システム研究所紀要 (第1巻第1号)
 中央学院大学社会システム研究所 (同研究所・平成13年3月) 発行者殿
 ○中央大学人文科学研究所研究叢書22
 (ウィーン その知られざる諸相) 中央大学人文科学研究所編
 (中央大学出版部 平成12年3月) 編者殿
 ○中央大学人文科学研究所研究叢書23 (アジア史における法と国家)
 中央大学人文科学研究所編
 (中央大学出版部 平成12年3月) 編者殿
 ○中央大学人文科学研究所研究叢書24
 (イデオロギーとアメリカン・テクスト) 中央大学人文科学研究所編
 (中央大学出版部 平成12年3月) 編者殿
 ○智山伝法院選書 第7号 (頼瑜 その思想と生涯)
 (智山伝法院 平成12年3月) 発行者殿
 ○電腦処理 西夏文献《文海》反切法解析 中島幹起編
 (東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所 平成12年3月) 長野泰彦殿
 ○電腦処理 西夏文雜字研究 李範文他編
 (東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所 平成9年3月) 長野泰彦殿
 ○電腦処理 西夏文字字素分析 中島幹起編
 (東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所 平成12年3月) 長野泰彦殿
 ○電腦処理 西夏文字諸解対照表 (稿) 中島幹起編
 (東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所 平成10年3月) 長野泰彦殿
 ○電腦処理 《文海宝韻》研究 史金波編
 (東京外大アジア・アフリカ言語文化研究所 平成12年3月) 長野泰彦殿
 ○東海仏教 第29〜45輯 東海印度学仏教学会編
 (同会 昭和59年〜平成12年) 森雅秀殿
 ○唐皇帝からの贈り物 (中国の正倉院 法門寺地下宮殿の秘宝)
 新潟県立近代美術館編 (同美術館 平成11年) 甲田博史殿
 ○日本史学文献目録 (1998 (平成10) 年度版)
 学術文献刊行会編 (朋文出版 平成13年1月) 編者殿

- 日本思想における「聖なるもの」をめぐる倫理学的基礎研究
 (平成10年度～平成12年度科学研究費補助金「基盤研究(C)」)
 研究成果報告書
- 豊沢 一他著 (同人他 平成13年2月) 木村武史殿
- 日本仏教学会年報 第63号
 (日本仏教学会西部事務所 平成10年12月) 森雅秀殿
- ニヤグロダ 第1～5号
 (アジア文化研究会仏教思想研究会 昭和60年～平成2年)
- 抜萃のつゞり 60 熊平製作所編 (熊平製作所 平成13年1月) 森雅秀殿 発行者殿
- パリー学仏教文化学 14 パリー学仏教文化学会編
 (パリー学仏教文化学会 平成12年12月) 高野山大学殿
- 秘密集会安立次第論註釈〈チベット密教資料翻訳シリーズ3〉
 ツルティム・ケサン他訳
 (永田文昌堂 平成12年4月) 甲田博史殿
- 秘密集会タントラ和訳 松長有慶著 (法蔵館 平成12年3月) 甲田博史殿
- ひと文化 インド(第2回大阪アジア文化フォーラム)
 井狩弥介他監修 (大阪府生活文化部 平成5年3月) 長野泰彦殿
- ひと文化 ネパール(第1回大阪アジア文化フォーラム)
 石井溥監修 (大阪府生活文化部 平成3年3月) 長野泰彦殿
- ひと文化 モンゴル(大阪アジア文化フォーラム'93)
 小長谷有紀監修 (大阪府生活文化部 平成7年3月) 長野泰彦殿
- ヒンドゥー教とインド社会(世界史リブレット5) 山下博司著
- (山川出版社 平成9年4月) 長野泰彦殿
- 福神 創刊準備号、1～5
 (福神研究所 平成11年4月～12年11月) 発行者殿
- 仏教学論叢(田雲徳総務院長華甲紀念、韓文)
 田雲徳総務院長華甲紀念論叢刊行委員会編
 (天台仏教文化研究院 一九九九年11月) 発行者殿
- 仏教文化の諸相(高木諄元博士古稀記念論集)
 高野山大学仏教学研究室編
 (山喜房仏書林 平成12年12月) 編者殿
- 梵蔵漢対照詞典 安世興編著(民族出版社 一九九一年4月) 甲田博史殿
- 密教学会報 第36、37・38合併号 高野山大学密教学会編
 (同学会 平成9、12年3月) 発行者殿
- 密教文化 204 密教研究会編
 (密教研究会 平成12年3月) 発行者殿
- 民族音楽叢書 1(職能としての音楽) 藤井知昭他編
 (東京書籍 平成2年4月) 長野泰彦殿
- 民族音楽叢書 3(語りと音楽) 鈴木道子編
 (東京書籍 平成2年4月) 長野泰彦殿
- 民族音楽叢書 6(観光と音楽) 石森秀三編
 (東京書籍 平成3年1月) 長野泰彦殿
- 民族音楽叢書 9(身ぶりと音楽) 野村雅一他編
 (東京書籍 平成2年10月) 長野泰彦殿
- 旅行人ウルトラガイド「西チベット」 高木辛哉著
 (旅行人 平成12年4月) 著者殿

- Boris Guibemine, et al., *Pratimokṣasūtram: A Word Index and Reverse Word Index*, P.A.M. 17, Tokyo: The Chuo Academic Research Institute, 2000. 発行者殿
- Chos kyi grags pa, *Collected Works of Kun mkhyen rig pa 'dzin pa chen po*, 15 vols. Dehradun: Drikung Kagyu Institute, 1999. 甲田博史殿
- Dwijendra Nath Bakshi, *Iconography of the Bodhisattva Images in Japan and India*. Calcutta: The Centre of Japanese Studies, 1991. 甲田博史殿
- Jinhua Chen, *Making and Remaking History*, SPB.M 14, Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 1999. 発行者殿
- Iwao Shima, *Hindu Temples at Shaniwar Peth in Poona*. Nagoya: Department of Indian Philosophy, Nagoya University, 1984. 森雅秀殿
- Lama Dawasamdub Kaji, *English-Tibetan Dictionary*. New Delhi: Munshiram Manoharlal Publishers, 1994. 甲田博史殿
- Melvyn C. Goldstein ed., *Tibetan-English Dictionary of Modern Tibetan*. Bibliotheca Himalayavica Series: 2, Vol.7. Kathmandu: Panta Pustak Bhandar, 1994. 甲田博史殿
- Morichi Yamazaki, Yumi Ousaka, *A Word Index to Early Pali Canonical Texts*, P.A.M. 16, Tokyo: The Chuo Academic Research Institute, 2000. 発行者殿
- Nags gtsang byams pa ngag dbang, ed., *Rgyun mkho'i cho ga phyag len sna tshogs bzhugs so*. 北京・民族出版社 1998. 甲田博史殿
- Oyasato Research Institute Tenri University, *Tenri Journal of Religion*, No.28, Tenri: Tenri University Press, 2000. 発行者殿
- Ratna Handurkande, *Three Sanskrit Texts on Caitya Worship*, SPB.M. 16, Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 2000. 発行者殿
- Samten G.Karmay, Yasuhiko Nagano eds., *New Horizons in Bon Studies*, *Bon Studies* 2, Senri Ethnological Report 15. Osaka: National Museum of Ethnology, 2000. 発行者殿
- Wangchuk D.Negi, *Vairayana Darsana Eyam Sadhana*. Miscellaneous Series: 7. Saranath: Central Institute of Higher Tibetan Studies, 1998. 甲田博史殿
- Yasuke Ikari ed., *Study of the Nilamata*, *Aspect of Hinduism in Ancient Kashmir*. Kyoto: Institute for Research in Humanities, Kyoto University, 1994. 長野泰彦殿
- Yasuihiro Sueki, *Bibliographical Sources for Buddhist Studies from the Viewpoint of Buddhist Philology* Addenda: 2, *Bibliographia Indica et Buddhica* 3, Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 2000. 発行者殿
- Zab chos zhi khro dgong pa rang grol las bar do thos grol gyi skor bzhugs so. Dharamsala. 甲田博史殿

交換寄贈雑誌

- 1 愛知学院大学文学部紀要〈第30号〉
愛知学院大学文学会（同会・平成13年3月）
- 2 あふひ・AOI〈第6号〉
京都産業大学日本文化研究所（同研究所・平成12年9月）
- 3 アジア・アフリカ文化研究所研究年報〈第34号（一九九九年）〉

- 東洋大学アジア・アフリカ文化研究所編
 4 アジア研究所紀要〈第26号〉
 亜細亜大学アジア研究所編（同研究所・平成12年3月）
- 5 アジア文化研究〈26〉
 国際基督教大学アジア文化研究所編
- 6 叡山学院研究紀要〈第22、23号〉
 叡山学院編（同学院・平成12年4月、13年3月）
 大倉山論叢〈第45、46輯〉
- 7 大倉精神文化研究所編（同研究所・平成12年3月、9月）
 大谷大学真宗総合研究所研究紀要〈第16、17号〉
- 8 大谷大学真宗総合研究所編（同研究所・平成11、12年3月）
 かがみ〈第34号、特輯号〉
- 9 岡崎久司編（大東急記念文庫・平成12年3月）
- 10 峨山論叢〈創刊号〉
 真言宗大覚寺派教学研究室（同室・平成12年3月）
- 11 神田外語大学紀要〈第12号〉
 神田外語大学（同大学・平成12年3月）
- 12 九州大谷研究紀要〈第27号〉
 九州大谷学会編
 （九州大谷短期大学内九州大谷学会・平成13年3月）
- 13 教化研修〈第44号〉
 曹洞宗教化研修所編（同研修所・平成12年3月）
- 14 京都産業大学日本文化研究所紀要〈第5号（一九九九年度）〉
- 15 京都産業大学日本文化研究所編（同研究所・平成12年3月）
 紀州経済史文化史研究所紀要〈第20号〉
 和歌山大学紀州経済史文化史研究所
 （同研究所・平成12年3月）
- 16 現代宗教研究〈第34号〉
 日蓮宗現代宗教研究所編（日蓮宗宗務院・平成12年3月）
- 17 現代密教〈第13号〉
 智山伝法院（同院・平成12年3月）
- 18 光華女子短期大学研究紀要〈第38集〉
 光華女子短期大学編（同大学・平成12年12月）
- 19 光華女子大学研究紀要〈第38号〉
 光華女子大学編（同大学・平成12年12月）
- 20 皇学館大学神道研究所紀要〈第16輯〉
 皇学館大学神道研究所編（同研究所・平成12年3月）
- 21 国際シンポジウム〈第12集、Japan in a Comparative Perspective〉
 国際日本文化研究センター編（同センター・平成11年11月）
- 22 国際日本文学研究集會会議録〈第23回（一九九九）〉
 国文学研究資料館編（同資料館・平成12年10月）
- 23 国際仏教学大学院大学研究紀要〈第3号〉
 国際仏教学大学院大学（同大学・平成12年3月）
- 24 史境〈第37、38・39合併号〉
 歴史人類学会編（同学会・平成10年9月、11年3月）
- 25 種智院大学研究紀要〈創刊号、第2号〉
 種智院大学編（同大学・平成12、13年3月）
- 26 種智院大学密教資料研究所紀要〈第3号〉
 種智院大学密教資料研究所編（同研究所・平成12年3月）

- 27 信愛紀要〈第40、41号〉
和歌山信愛女子短期大学学術研究会
(同会・平成12年3月、13年3月)
- 28 真宗文化〈増刊号、創立60周年記念〉
光華女子大学・光華女子短期大学真宗文化研究所
(同研究所・平成12年3月)
- 29 真宗文化〈第9号〉
光華女子大学・光華女子短期大学真宗文化研究所
(同研究所・平成12年7月)
- 30 城西大学国際文化研究所紀要〈第6号〉
城西大学国際文化研究所編(同研究所・平成12年11月)
- 31 人文研紀要〈第37、39号〉
中央大学人文科学研究所(同研究所・平成12年9月)
- 32 人文研究〈第51巻第1、2、5、6、8分冊〉
大阪市立大学文学部(同学部・平成11年12月)
- 33 人文研ブックレット12〈漁夫王あるいは鮭の王〉
渡辺浩司訳(中央大学人文科学研究所・平成12年7月)
- 34 西山学会年報〈第9、10号〉
西山学会(同学会・平成11年11月、12年7月)
- 35 西山学報〈第48号、創立40周年記念号〉
西山短期大学(同大学・平成12年10月)
- 36 普通寺教学振興会紀要〈第6号〉
普通寺教学振興会(同会・平成11年12月)
- 37 中央学術研究所紀要〈第29号〉
中央学術研究所編(同研究所・平成12年11月)
- 38 中央学術研究所紀要モノグラフ篇 No.2
〈原始仏教聖典資料による釈尊伝の研究2〉
金子芳夫編(中央学術研究所・平成12年7月)
- 39 中央学術研究所紀要モノグラフ篇 No.3
〈原始仏教聖典資料による釈尊伝の研究3〉
森章司他編(中央学術研究所・平成12年9月)
- 40 中央大学人文科学研究所年報〈第21号(一九九九)〉
中央大学人文科学研究所(同研究所・平成12年3月)
- 41 地域と社会〈第3号〉
大阪商業大学比較地域研究所編(同研究所・平成12年8月)
- 42 智山教化センター年報〈第4号〉
智山教化センター(同センター・平成12年6月)
- 43 鶴見大学仏教文化研究所紀要〈第5号〉
鶴見大学(同大学・平成12年4月)
- 44 天台学報〈第42号〉
天台学会編(叡山学院・平成12年11月)
- 45 天理大学おやさと研究所年報〈第6号(一九九九)〉
天理大学おやさと研究所編(同研究所・平成12年3月)
- 46 東京成徳大学研究紀要〈第7号〉
東京成徳大学編(同大学・平成12年3月)
- 47 東京大学史料編纂所研究紀要〈第10号〉
東京大学史料編纂所編(同所・平成12年3月)
- 48 東京立正女子短期大学紀要〈第28号〉
東京立正女子短期大学編(同大学・平成12年3月)
- 49 東西学術研究所紀要〈第33輯〉
関西大学東西学術研究所編(同研究所・平成12年3月)

- 50 東西南北 (二〇〇〇)
和光大学総合文化研究所編 (同研究所・平成12年3月)
- 51 東西南北 (別冊1)
朝鮮研究会編 (和光大学総合文化研究所・平成12年12月)
- 52 東北アジアアラカルト (第1号、ノヴォシビルクスは今)
徳永昌弘他編
(東北大学東北アジア研究センター・平成12年3月)
- 53 東北アジアアラカルト (第2号、シベリアの過去と未来)
寺山恭輔編訳
(東北大学東北アジア研究センター・平成12年3月)
- 54 東北アジアアラカルト
(第3号、エリツイン時代のロシアとその後) 徳永昌弘他編
(東北大学東北アジア研究センター・平成12年7月)
- 55 東北アジア研究 (第4号)
東北大学東北アジア研究センター広報委員会編
(同センター・平成12年3月)
- 56 東北学院大学東北文化研究所紀要 (第32号)
東北学院大学東北文化研究所編 (同研究所・平成12年8月)
- 57 東北学院大学論集 (歴史学・地理学 第34号)
東北学院大学学術研究会 (同研究会・平成13年2月)
- 58 東北福祉大学研究紀要 (第24巻)
東北福祉大学編 (同大学・平成三年3月)
- 59 東洋学研究 (第36、37号)
東洋大学東洋学研究所 (同研究所・平成11、12年3月)
- 60 東洋学術研究 (第39巻第1号)
- 61 東洋学論叢 (24、25)
東洋大学文学部印度哲学科編
(同大学文学部・平成11、12年3月)
- 62 東洋大学中国哲学文学科紀要 (第8号) (東洋大学文学部紀要第53集)
東洋大学文学部中国哲学文学科編
(同同学部・平成12年3月)
- 63 東洋哲学研究所紀要 (第16号)
東洋哲学研究所 (同研究所・平成12年12月)
- 64 東洋の思想と宗教 (第17号)
早稲田大学東洋哲学会編 (同学会・平成12年3月)
- 65 同朋大学仏教文化研究所紀要 (第19号)
同朋大学仏教文化研究所編 (同研究所・平成12年7月)
- 66 同朋仏教 (第36号)
同朋大学仏教学会編 (同学会・平成12年7月)
- 67 奈良大学紀要 (第29号) 奈良大学編 (同大学・平成13年3月)
- 68 成田山仏教研究所紀要 (第23号)
成田山仏教研究所 (同研究所・平成12年3月)
- 69 日文研 (22、23号)
国際日本文化研究センター編
(同センター・平成11年8月、12年2月)
- 70 日本研究 (第20集)
国際日本文化研究センター編 (同センター・平成12年2月)
- 71 日本語と日本語教育 (第29号)
慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター編
(同センター・平成13年3月)

- 72 日本における宗教と文学〈創立十周年記念国際シンポジウム〉
国際日本文化研究センター〈同センター・平成11年11月〉
- 73 比較文化〈第14号〉 中央学院大学比較文化研究所編
(同研究所・平成12年3月)
- 74 福井県立大学論集〈第16、17号〉
福井県立大学編〈同大学・平成12年2、7月〉
- 75 仏教研究〈第29号〉 国際仏教徒協会編〈同協会・平成12年3月〉
- 76 仏教大学総合研究所紀要〈第7号〉
仏教大学総合研究所編〈同研究所・平成12年3月〉
- 77 仏教大学総合研究所紀要
〈別冊 近代・日朝における〈朝鮮観〉と〈日本観〉〉
仏教大学総合研究所編〈同研究所・平成12年3月〉
- 78 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書〈第30冊〉
仏教美術研究上野記念財団助成研究会編
- 79 仏教文化〈第40号〉 東京大学仏教青年会〈同会・平成12年3月〉
- 80 仏教文化研究論集〈第4号〉
東京大学仏教青年会〈同会・平成12年3月〉
- 81 平和と宗教〈第19号〉
庭野平和財団平和研究会編〈同財団・平成12年12月〉
- 82 北陸宗教学文化〈第12号〉
金沢大学文学部比較文化学研究室内北陸宗教学文化学会
(同学会・平成12年3月)
- 83 密教学〈第36号〉
種智院大学密教学会編〈同学会・平成12年1月〉
- 84 密教学研究〈第31、32号〉
日本密教学会編〈同学会・平成11、12年3月〉
- 85 身延山大学東洋文化研究所報〈第4号〉
身延山大学東洋文化研究所編〈同研究所・平成12年3月〉
- 86 身延論叢〈第5号〉
身延論叢編集委員会編〈身延山大学仏教学会・平成12年3月〉
- 87 民具マンスリー〈第32巻12号、第33巻1、11号〉
神奈川大学日本常民文化研究所編
(同研究所・平成12年3月、13年2月)
- 88 武蔵野女子大学仏教文化研究所紀要〈15、17〉
武蔵野女子大学仏教文化研究所編
(同研究所・平成10年12月、12年3月)
- 89 ヨーロッパ国際シンポジウム〈Gender and Modernity: Rereading
Japanese Women's Magazines〉、英文
国際日本文化研究センター編〈同センター・平成12年3月〉
- 90 龍谷史壇〈第114、115号〉
龍谷大学史学会編〈同学会・平成12、13年3月〉
- 91 龍谷大学論集〈第455、456号〉
龍谷学会編〈同学会・平成12年1、7月〉
- 92 論叢アジアの文化と思想〈第9号〉
アジアの文化と思想の会編
(早稲田大学文学部東洋哲学研究室内同会・平成12年12月)

平成十三年密教文化研究所だより

平成八年四月より密教文化研究所長をお勤めになつた高木諱元教授が、平成十三年三月三十一日付をもって退任せられた。これは高野山大学の定年退職にともなうものである。高木前所長にあつては、二つの共同研究の推進と統括に御尽力いただいた他、自らも積極的に研究活動に加わり、貴重な成果をものされたことは感慨に堪えない。長年の御労苦に深く感謝したい。後任には、東智學教授（高野山大学長）が平成十三年四月一日付で就任せられた。

平成五年四月より旧制度下で密教文化研究所専任講師として赴任以來、平成七年度からは高野山大学文学部講師、密教文化研究所専任研究所員として活躍された森雅秀助教授が、平成十三年四月一日付で金沢大学文学部に転任された。平成十年度以降は研究所の実質的な運営に携わっていただいていたので、高木前所長と共に主要なメンバーが欠けることは痛手であるが、新たな環境での更なる飛躍をお祈りしたい。

昨年度から合同で開催されている共同研究「弘法大師の思想とその展開」および「密教の形成と流伝」は、専任研究所員として藤田光寛教授と前谷彰講師が加わり、東所長、越智・山陰・室寺各所員、岩崎研究員の他、森雅秀氏にも引き続き委託研究所員として御参加いただいている。六月には特別研究会として安藤和雄氏（京都大学東南アジアセンター助教授）をお迎えしてバングラデシユの農村の現状、特に宗

教事情についてお話いただいた。

平成13年6月4日(月) 藤田光寛「大乘仏教から密教への一視点」

6月11日(月) 安藤和雄「バングラデシユの農村と暮らし」

7月6日(金) 森雅秀「密教図像とボン教の神々」

7月16日(月) 岩崎日出男「恩の語義と四恩について」

10月15日(月) 山陰加春夫「高野山一心院と同院領荘園―

弘法大師経行の地のその後―」

11月12日(月) 越智淳仁「『五秘密儀軌』の「法の定型句」

の起源と意味」

12月17日(月) 室寺義仁「『空海の「一心」について―」

識」についての仏教教義解釈と対比して―」

平成14年1月21日(月) 前谷彰「奈良・平安期における山林修行を

めぐる問題」

2月12日(火) 河廷龍(受託研究所員)「善無畏と惠通―『三

国遺事』惠通降龍条と新羅密教―」

S・トレンソン(受託研究所員)「請雨経法の

研究―その日本の実施と歴史―」

今年度は密教文化研究所受託研究所員として四名、河廷龍氏(継続、韓国)とステイブン・トレンソン氏(ベルギー、京都大学大学院修士課程)を平成十三年四月一日から、パーケルマンス・ペテロ氏(ベルギー、南山大学大学院博士後期課程)を同七月二十日から、パオラ・デイ・フェリーチェ氏(イタリア、高野山真言宗国際交流センター研究員)を同十一月一日から、それぞれ平成十四年三月三十一日まで受け入れていた。

南アジアにおける

密教図像の形成と展開に関する研究

密教文化研究所は日本私立学校振興・共済事業団より、昨年度からの継続として平成一三年度の学術研究振興資金の交付を受けている。研究テーマは「南アジアにおける密教図像の形成と展開に関する研究」である。構成メンバーは次のとおり。

研究代表者 東 智學（研究所長・高野山大学教授）

研究分担者 藤田光寛（専従研究所員・高野山大学教授）

乾 仁志（高野山大学教授）

奥山直司（高野山大学助教授）

森 雅秀（金沢大学助教授）

今年度の本研究の目的、方法、特色は以下の通りである。

◎研究目的

本研究では、インドを中心とする南アジアにおいて、密教の図像がどのように形成され、継承されていったかを、現地調査と文献研究にもとづいて明らかにする。インド仏教の最終的な段階である密教の時代には、膨大な数の尊格が登場し、その姿が彫刻や絵画で表現されたが、その形成と展開は必ずしも明らかではなかった。この研究ではインドを中心に、大乘仏教やヒンドゥー教の美術も視野に入れて、現存する造形作品からそれらを明らかにする。現地調査によって収集された図像資料は、研究所がすでに所蔵する資料と合わせてデジタル化し、

画像データベースを構築する。さらに密教文献に含まれる情報とあわせて、インターネット上で公開する。

◎研究の特色

初年度である平成十二年度は、インドにおける密教図像の形成に焦点を当てて研究を進めた。現地調査に関しては、研究分担者の森雅秀助教授が、研究計画にしたがい、平成十二年八月二十二日より九月八日の十八日間にわたって、インドおよびバングラデシュにおいて現地調査を実施、主要な仏教遺跡や博物館において、密教美術もしくはそれに先行するグプタ期の仏教美術の造形作品を調査した。帰国後は収集したデータの処理を進めるとともに、画像資料のフォトCDによるデジタル化を進めた。また、これまでに研究所が収集してきたバングラデシュの密教図像に関する画像資料もあわせてデジタル化を行い、画像資料の一元化を進めている。

平成十三年度は密教図像の展開について重点的に研究を行う。前年と同様、現地調査を実施する。インド密教が伝播したチベットとネパールを対象とする。平成十三年九月二十五日から十月九日にかけての二週間、研究分担者奥山直司助教授により、チベット仏教圏であるインド・シッキム地方とその周辺地域（ダージリン、カリンポン）に存在する仏教寺院の密教絵画や壁画、彫刻など、画像資料の調査が行われた。さらに年度内に、中国チベット自治区、ネパールのカトマンドゥの主要寺院を対象に、壁画、絵画、彫刻等の調査を実施する。収集した資料をもとにデータベースの拡充に努め、さらにWebサイト上で公開の準備を進める。チベットとネパールへのインドの密教美術の伝播に関する考察を行い、研究報告会を開催する。

◎研究の特色

わが国の密教美術研究は、国内の作品に関しては相当の研究の蓄積があるが、南アジアを対象とする研究は歴史が浅く、作品に対する関心も低い。研究分担者はいずれもインドをはじめとする南アジア諸地域での豊富な現地調査の経験を持ち、その一方で密教の文献にも精通している。本研究を通じて、密教美術の画像資料が網羅的に収集されるときにも、文献に含まれる画像学的な情報との関係も明らかになる。これを通じて密教画像の形成と展開に関する仮説や理論の構築が期待される。それはわが国を含むアジア諸国の密教美術を考察するための理論的モデルともなりうる。また収集した画像資料を中心とした画像データベースをインターネット上で公開することで、ひろく内外の研究者による閲覧検索が可能となる。

これらの研究活動の成果は、『高野山大学密教文化研究所紀要』等において、順次公表していく予定である。

◎海外調査の日程および調査地

今年度、研究分担者奥山直司助教授が実施した海外調査（インド・シッキム地方）の概要は次の通りである。

- 9月25日 出国、バンコク着
 9月26日 バンコク発、コルカタ（カルカッタ）着
 9月27日 インド博物館、アジア協会訪問
 9月28日 コルカタ発、バグドグラ経由、ガントク（シッキム州都）着
 9月29日 ガントク北方ポドン・ゴンパ、ペンサン・ゴンパ、ガントクのエンチェン・ゴンパ、ナムギエル・チベット学研

研究所、ドゥードウル・チュールテンを調査

- 9月30日 ガントク発、ルムテック経由、ペリン着。ルムテック・ゴンパを調査の後、西シッキムに入り、タシティン・ゴンパ、ペマ・ヤンツェ・ゴンパを調査
 10月1日 ペリン発、カリンボン着。ペリンのサンガ・チューリンとラプダンツェ遺跡、カリンボンのサンドペリ、タルパ・チューリン、トンサ（デチェン・チューリン）の各ゴンパとレプチャ博物館を調査
 10月2日 カリンボン発、ダーズリン着。ダーズリン近郊のイーガ・チューリン、トゥプテン・サンガ・チューリンを調査
 10月3日 ダージリン発、バグドグラ経由、コルカタ着。ペルール・マート見学
 10月4日 アジア協会訪問。コルカタ発
 10月5日 ガヤー経由、ブッダガヤー着
 10月6日 ブッダガヤー発、パトナ経由、コルカタ着
 10月7日 インド博物館調査
 10月8日 コルカタ発
 10月9日 バンコク経由、帰国

密教文化研究所構成員名簿 (平成十三年十二月一日現在)

所長

専従研究所員

兼任研究所員

委託研究員

顧問

研究所課長補佐

専門員

書記

東 智學 (高野山大学長、文学部教授)

藤田 光寛 (文学部教授)

前谷 彰 (文学部講師)

越智 淳仁 (文学部教授)

山陰加春夫 (文学部教授)

室寺 義仁 (文学部助教授)

岩崎日出男 (園田学園女子大学国際文化学部助教授)

森 雅秀 (金沢大学文学部助教授)

松長 有慶 (名誉教授)

甲田 博史

甲田 博史

北原 裕全

中原 祥徳

塩崎まどか (非常勤)

【教職員人事】

○退任 平成十三年三月三十一日付

高木 諄元 所長、専従研究所員

森 雅秀 専従研究所員

越智 淳仁 兼任研究所員

山陰加春夫

室寺 義仁

岩崎日出男 委託研究員
三星みや子 非常勤職員

○就任 平成十三年四月一日付

東 智學 所長

藤田 光寛 専従研究所員

前谷 彰

越智 淳仁 兼任研究所員

山陰加春夫

室寺 義仁

岩崎日出男 委託研究員

森 雅秀

中上 有香 非常勤職員

○退任 平成十三年八月三十一日付

中上 有香 非常勤職員

○就任 平成十三年九月十七日付

塩崎まどか 非常勤職員

高野山大学密教文化研究所規程

(総則)

第一条 この規程は、高野山大学（以下「本学」という。）学則第三九条に基づき、密教文化研究所（以下「研究所」という。）の目的及び組織等に必要事項を定めるものである。

(目的)

第二条 この研究所は、真言密教の蘊奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以つて目的とする。

(事業)

第三条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学术交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

(研究組織)

第四条 研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
 - ② 総合研究部門
- 2 基礎研究部門においては、日本及びアジア地域における

(職員組織)

第五条 研究所に次の職員を置く。

- ① 研究所長 若干名
- ② 研究所員 若干名
- ③ 研究員 若干名
- ④ 第九条に規定する事務職員 若干名

(研究所長)

第六条 研究所長は、本学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

- 2 研究所長の任期は三年とし、再任を妨げない。
- 3 研究所長は、学長の下に研究所に関する事項を掌理する。

(研究所員)

第七条 研究所員は、本学専任の教育職員の中から、研究所長が文学部長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。

- 2 研究所員を専従研究所員及び兼任研究所員とする。
- 3 専従研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。
- 4 専従研究所員の任期は二年とし、再任を妨げない。
- 5 専従研究所員の担当する授業時間数等については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。
- 6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究

又は事業に従事する。

7 兼任研究所員の任期は一年とし、再任を妨げない。

(研究員)

第八条 研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。

3 専任研究員の任期は一年とし、本学が必要と認める場合には、再契約をすることがある。

4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。

5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。

6 委託研究員の委託期間は一年とし、本学が必要と認める場合には、再委嘱をすることがある。

7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究を行う。

8 受託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

(事務組織)

第九条 研究所の事務は、研究所課がつかさどる。

2 研究所課に課長、専門員及びその他の事務職員を置く。

3 事務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。

4 専門員は、研究所長及び研究所課長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分野の業務を直接処理する。

(運営)

第一〇条 研究所の運営を協議するために研究所に協議会を置く。

2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

(顧問及び賛助員)

第一一条 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。

2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

(学則等の準用)

第二一条 この規程に定めるもののほか、研究所の運営に関し必要な事項は、本学の学則及びその他の本学の諸規程を準用する。

(規程の改廃)

第三一条 この規程の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

一 この規程は昭和三三年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五一年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五九年四月一日より施行する。

一 この規程は平成二年二月一六日より施行する。

一 この規程は平成三年二月一八日より施行する。

一 この規程は平成三年四月一日より施行する。

一 この規程は平成五年四月一日より施行する。

一 この規程は平成七年五月一日施行し、平成七年四月一日より適用する。

一 この規程は平成八年四月一七日施行し、平成八年四月一日より適用する。

『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

- 第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。
- 第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。
- (1) 研究所長
 - (2) 専従研究所員
 - (3) 「紀要」編集担当者
- 2 編集委員長は研究所長がこれにあたる。研究所課長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。
- 第3条 編集委員会は研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故あるときは、互選によって議長を選出する。
- 第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。
- (1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。
 - (2) 「紀要」寄稿者への補筆および補正の要請。
- 第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。
- 第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附 則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

『密教文化研究所紀要』寄稿規程

- 第1条 『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。
- 第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 研究所長
 - (2) 研究所員
 - (3) 研究員
 - (4) 編集委員会が適当と認める者
- 第3条 原稿は、原則として四百字詰原稿用紙七十枚以内とする。
- 第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再稿までとし、校正時の大幅な改変・追加等は認めない。
- 第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会には、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。
- 第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 第7条 寄稿者には、掲載誌二部および抜刷三十部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。

附 則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

『密教文化研究所紀要』査読委員会規程

(設置)

第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』査読委員会（以下「査読委員会」という。）を設置する。

(目的)

第2条 査読委員会は、寄稿論文原稿を査読し、紀要の学術的価値の向上を計ることを目的とする。

(構成)

第3条 査読委員会は、研究所長を委員長とし、研究所員若干名の委員をもって構成する。

2 委員長は、寄稿論文のテーマにしたがって、研究所員以外から委員を委嘱することができる。

(任務)

第4条 委員は、寄稿された論文原稿について査読し、その学術的評価を判断して、その結果を委員会に報告する。

2 委員長は、各委員からの報告を受けて査読委員会を開き、論文掲載の可否を審議し、編集委員会に報告する。

(任期)

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附則

1 この規程は平成九年四月一日から施行する。

執筆者紹介（掲載順）

前谷 恵紹 密教文化研究所専従研究所員

（文学部講師）

岩崎 日出男 密教文化研究所委託研究員

（園田学園女子大学国際文化学部助教）

甲田 宥咩 密教文化研究所専門員

藤田 光寛 密教文化研究所専従研究所員

（文学部教授）

編集後記

『密教文化研究所紀要』第十五号をお届けいたします。今号には前谷恵紹、岩崎日出男、甲田宥咩、藤田光寛各先生の論文を掲載いたしました。前谷・岩崎両先生の論文は、彙報の報告のとおり、今年度行なわれた当研究所の共同研究会による成果の一部です。また、藤田先生の校訂テキストは学位請求論文の基礎資料で、彙報に書けませんでした。同先生は論文「インド・チベット仏教における瑜伽戒の思想とその展開」により、平成十三年十一月二十二日付で東北大学において博士（文学）の学位を取得されました。所内からもお慶びを申し上げます。ありがとうございます。

（甲田記）

高野山大学密教文化研究所紀要 第十五号

平成十四年二月二十一日 印刷
平成十四年二月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 東 智學

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学
電話 (〇七三) 五三三三〇 〇六四八〇六〇

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七―一三―一
電話 (〇六) 六四八八五七一六 〇五三三〇〇〇三